

## 短期NZドル債オープン（資産成長型）

### 追加型投信／海外／債券

第3期 2015年9月7日決算

作成対象期間（2015年3月10日～2015年9月7日）

第3期末（2015年9月7日）	
基準価額	8,950円
純資産総額	263百万円
第3期	
騰落率	△13.8%
分配金	0円

### 受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「短期NZドル債オープン（資産成長型）」は、このたび、第3期の決算を行いました。

当ファンドは、短期NZドル債マザーファンドへの投資を通じて、高格付けのニュージーランド・ドル建ての公社債および短期金融商品へ実質的に投資することにより、安定した利息収益の確保を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

◆運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

◆当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）については、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

#### <閲覧方法>

下記ホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒「ファンド検索」を選択⇒「ファンド名の一部から探す」にファンド名を入力⇒該当のファンドを選択⇒「運用報告書（全体版）」を選択

ホームページアドレス <http://www.daiwasbi.co.jp/>

お問い合わせ先

デスクロージャー部 ☎0120-286104

受付時間は、毎営業日の午前9時から午後5時までです。

※お客様のお取引内容につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

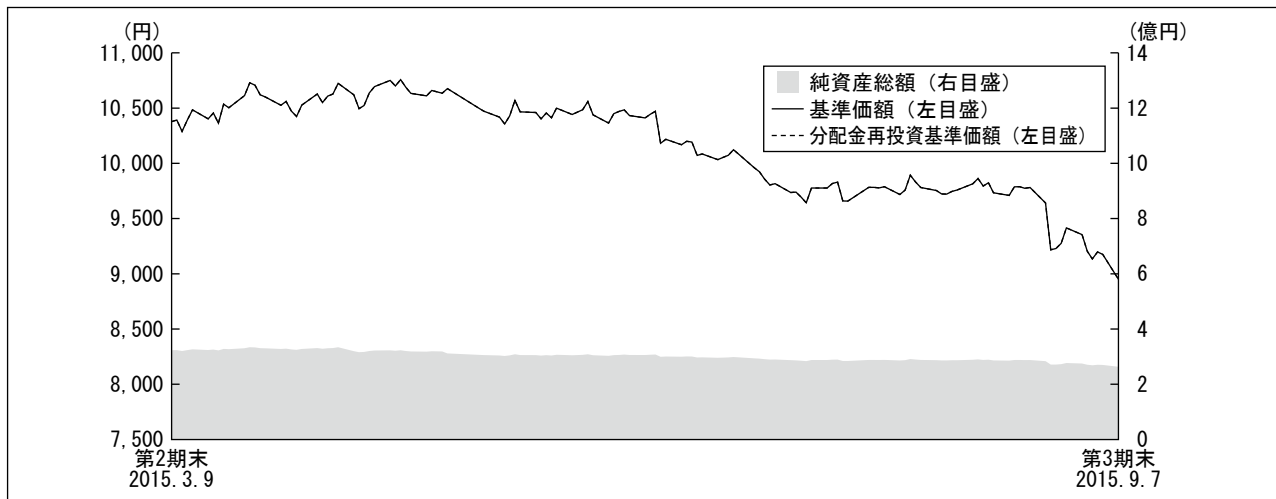


## 大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

## 運用経過

## 【基準価額等の推移】



\*当ファンドにはベンチマークはありません。

\*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

\*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

第3期首：10,378円

第3期末：8,950円（既払分配金 0円）

騰落率：△13.8%（分配金再投資ベース）

## 【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、短期NZドル債マザーファンドへの投資を通じて、高格付けのニュージーランド・ドル建ての公社債および短期金融商品へ投資を行いました。

（上昇要因）

ニュージーランド準備銀行（RBNZ）が4月末の理事会で政策転換の可能性を示唆し、6月と7月の2回合計で0.50%政策金利を引き下げた結果、ニュージーランド国債市場では中短期ゾーンを中心に利回りが大きく低下（債券価格は上昇）しました。このような環境下、ポートフォリオのデュレーション\*は2年を中心に1.7年～2.6年のレンジでやや高めで調整を行い、プラスのリターンを確保できたことが上昇要因となりました。

（下落要因）

ニュージーランドドルが期首の88.88円から期末には74.80円へ下落したことが下落要因となりました。4月末のRBNZ理事会で利下げへの政策転換が示唆されて以降、ニュージーランドドルは対米ドルで下落し始め、6月および7月に利下げが実施されたことや乳製品価格の低迷を背景に対円でも下落基調となりました。8月に入り、中国が人民元を実質的に切り下げたことをきっかけに中国の景気減速への懸念が強まり、世界同時株安とリスク回避の円買いによる円高が進行したことでニュージーランドドルは対円で一段安となり、基準価額を押し下げました。

\*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い（大きい）ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

## 【1万口当りの費用明細】

項目	当期		項目の概要
	2015年3月10日～2015年9月7日		
	金額	比率	
信託報酬	62円	0.610%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,116円です。
（投信会社）	(30)	(0.297)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(30)	(0.297)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	10	0.097	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(9)	(0.090)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.001)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	72	0.707	

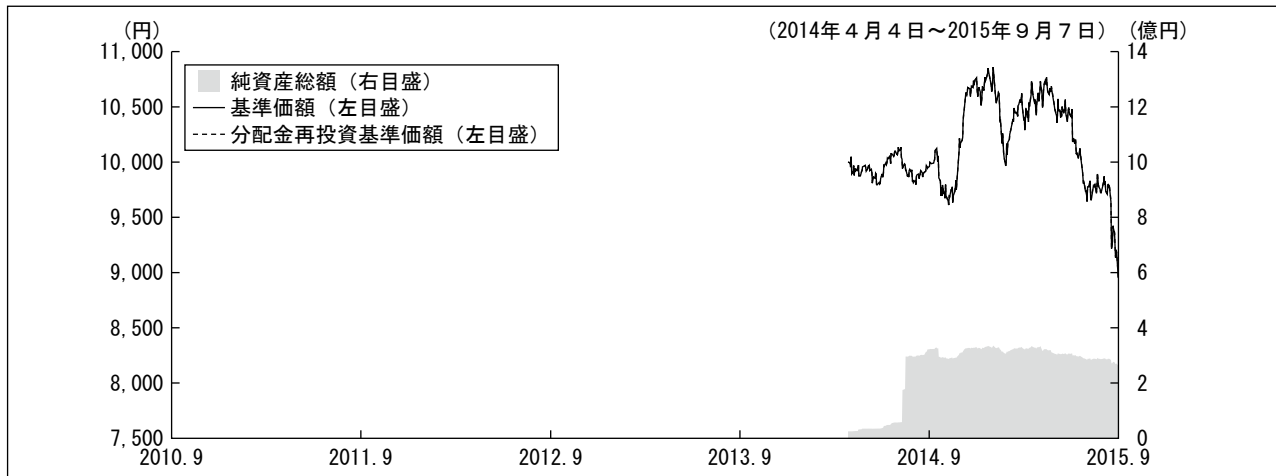
\* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

\* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

## 【最近5年間の基準価額等の推移】



\*当ファンドの設定日（2014年4月4日）より表示しております。

\*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

\*当ファンドにはベンチマークはありません。

\*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

		2014年4月4日 設定日	2014年9月8日 決算日	2015年9月7日 決算日
基準価額	(円)	10,000	9,959	8,950
期間分配金合計（税込み）	(円)	—	0	10
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	△0.4	△10.0
Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) 騰落率	(%)	—	△0.3	△9.9
純資産総額	(百万円)	25	322	263

\*Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

## ●参考指数に関して

\*Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) とは、Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (ニュージーランドドルベース) を委託者が円換算したものです。

\*海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

## 【投資環境】

当期のニュージーランド債券市場は、RBNZによる2度の利下げにより中短期債利回りが大幅に低下し、堅調に推移した一方、ニュージーランドドルは大幅安となりました。

RBNZは2015年6月の理事会で政策転換を行い利下げに踏み切り、7月に追加利下げを実施しました。主力輸出品である乳製品の国際入札価格の値下がりが止まらず、酪農家や関連企業を中心に景気マインドが急速に悪化したことに加え、インフレ率が物価目標の下限を下回る状況が続いたことが背景にあります。RBNZの政策転換を反映してニュージーランド国債利回りは中短期を中心に大幅に低下（債券価格は上昇）し、ニュージーランドドルは対米ドルで下落基調となりました。8月に入り、中国が人民元を実質的に切り下げたことをきっかけに中国の景気減速懸念が急速に広がり、世界同時株安とリスク回避としての円買いにより円高が進行したことを受けてニュージーランドドルは対円で大きく値を下げ、期初の89円付近から期末には74円台へ大幅に下落し期を終えました。

## 【ポートフォリオ】

### ■短期NZドル債オープン（資産成長型）

主要投資対象である短期NZドル債マザーファンドを期を通じて高位に組み入れ、期末の実質的な公社債組入比率は95.1%としました。

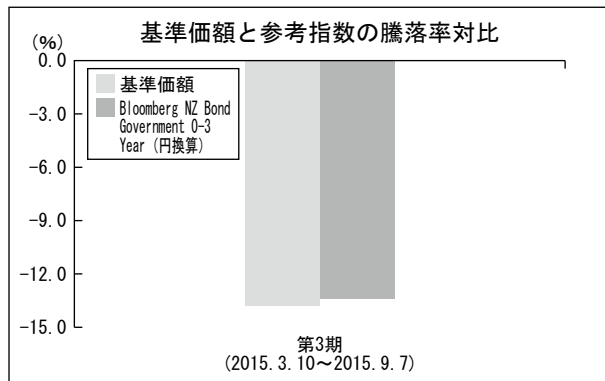
### ■短期NZドル債マザーファンド

当期の騰落率は、△13.1%となりました。

RBNZが金融政策のスタンスを引き締めから緩和に転換したため、長めのデュレーションを基本にコントロールしました。期初から4月のRBNZ理事会までは、政策転換リスクに備えデュレーションを2年程度に維持し、実際に利下げが示唆された後はいったん2年未満に引き下げました。その後、6月に利下げが実施された後に景気センチメントが急速に悪化したため、デュレーションを最大2.6年へ引き上げ、6月から7月にかけての金利低下局面に対応しました。7月下旬に、デュレーションをいったん2.2年へ引き下げた後、8月に世界同時株安が発生し金利低下圧力がかかったものの、低迷が続いていた乳製品価格が底打ちする兆しが表れたためデュレーションの長期化は小幅にとどめ、期末のデュレーションを2.16年としました。投資銘柄は、ニュージーランド国債、LGFA債（ニュージーランド地方自治体資金調達機構）、カウリ債（非居住者が発行するニュージーランドドル建ての国内債）へ投資を行い、期末のポートフォリオの平均利回りを2.9%としました。

## 【ベンチマークとの差異】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



## 【分配金】

収益分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせていただきます。  
なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ■分配原資の内訳

(1万口当り・税引前)

項目	第3期	
	2015年3月10日 ~2015年9月7日	
当期分配金 (円)		0
(対基準価額比率) (%)		0.00
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		602

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

### ■短期NZドル債オープン（資産成長型）

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じてニュージーランドドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資を行うことにより、安定的な利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指します。

### ■短期NZドル債マザーファンド

ニュージーランドでは、主要輸出品である乳製品価格の長期低迷により景気マインドが急速に悪化しましたが、8月下旬に乳製品の国際入札価格が上昇に転じその傾向が9月に入ってからも続いていることは明るい材料と言えます。RBNZは、酪農家の負担軽減とインフレ見通し改善を目指して政策金利を引き下げましたが、一方で移住者の急増に伴い住宅市場が過熱している状況下では自ずと利下げにも限界があると考えています。運用方針としては、デュレーションは引き続き2年程度を基本として金融政策や市場動向を見極めながら機動的な運営を行う方針です。投資銘柄に関しては、デュレーションの機動性を高めるため国債の組入比率を高め維持しながら、地方債や国際機関債等のカウリ債へ分散投資を行う方針です。

## お知らせ

該当事項はございません。

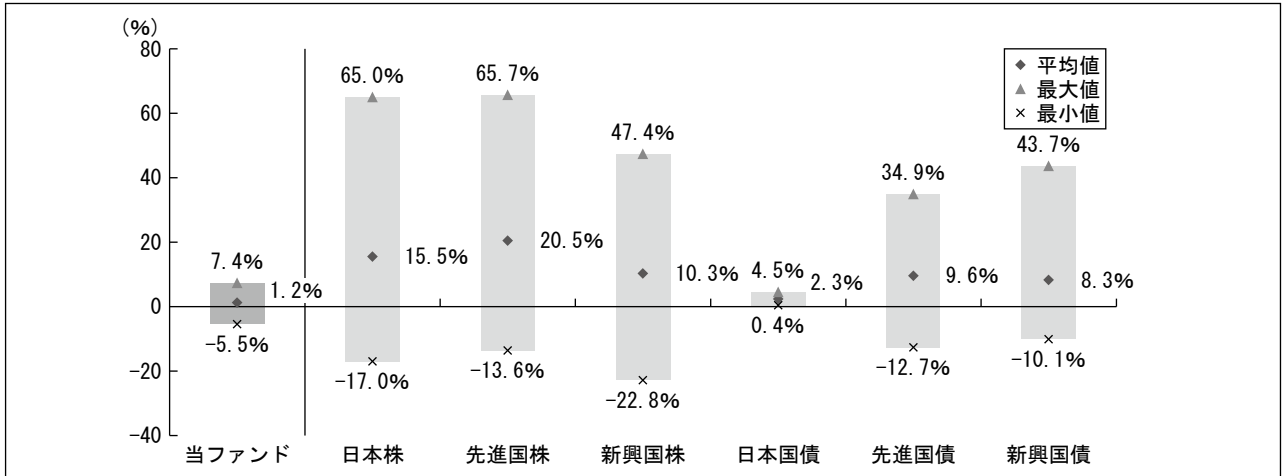
## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2014年4月4日～2024年4月8日（約10年）	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資を行うことにより、安定的な利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	短期NZドル債マザーファンド受益証券
	短期NZドル債マザーファンド	ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運用はファミリーファンド方式で行います。</li> <li>・ファンド全体のデュレーションは、原則として3年未満とします。</li> <li>・原則として為替ヘッジは行いません。</li> </ul>	
分配方針	<p>毎年3月、9月の7日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、収益分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含まれます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>* 分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。</p>	



## 【当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

当ファンド：2015年4月～2015年8月  
 代表的な資産クラス：2010年9月～2015年8月



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

\*当ファンドと代表的な資産クラスのデータの期間が異なりますので、ご注意ください。

\*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

\*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

\*騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## ＜各資産クラスの指数について＞

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX（配当込み）	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村証券株式会社
先進国債	シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	Citigroup Index LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）	J.P.Morgan Securities LLC

（注）上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

## 当該投資信託のデータ

## 〈〈当該投資信託の組入資産の内容〉〉

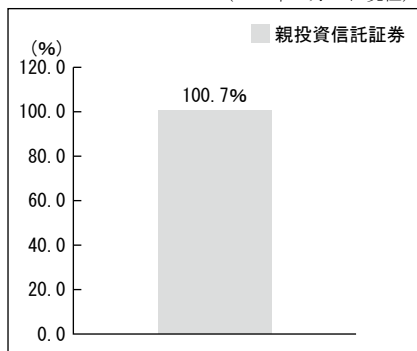
## 【組入ファンド】

	第3期末（2015年9月7日）
	組入比率
短期N Z ドル債マザーファンド	100.7%

\*組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

## 【資産別配分】

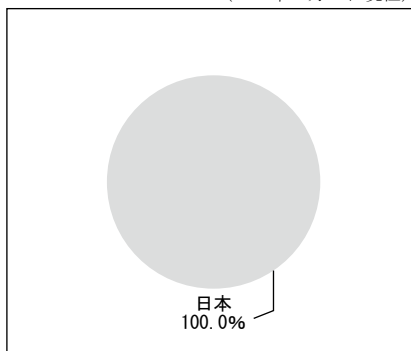
（2015年9月7日現在）



\*純資産総額に対する評価額の割合

## 【国別配分】

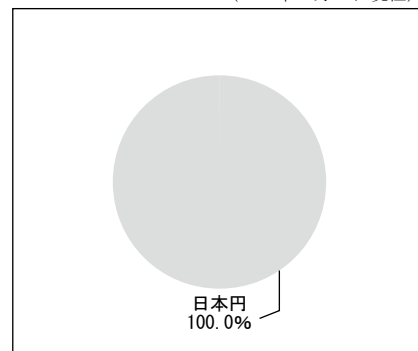
（2015年9月7日現在）



\*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

## 【通貨別配分】

（2015年9月7日現在）



\*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

## 【純資産等】

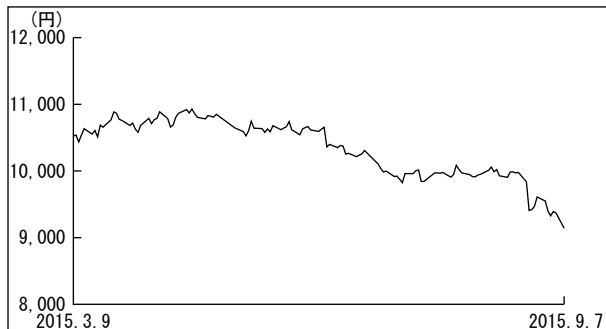
項目	当期末
	2015年9月7日
純資産総額	263,289,206円
受益権総口数	294,194,044口
1万口当り基準価額	8,950円

\*当期中における追加設定元本額は5,072,719円、同解約元本額は22,408,323円です。

## <<組入ファンドの概要>>

### ■短期NZドル債マザーファンド

#### 【基準価額の推移】



#### 【1万口当りの費用明細】

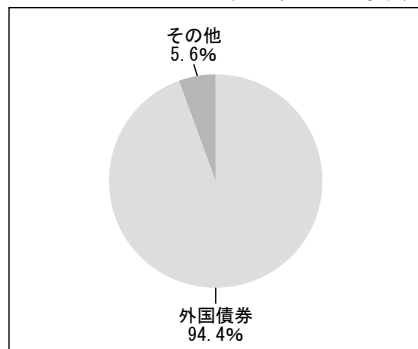
(2015年3月10日～2015年9月7日)

項目	金額
その他費用 (保管費用) (その他)	9円 (9) (0)
合計	9

\*費用項目については、2ページの項目の概要をご参照ください。  
 \*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
 \*円未満は四捨五入しています。

#### 【資産別配分】

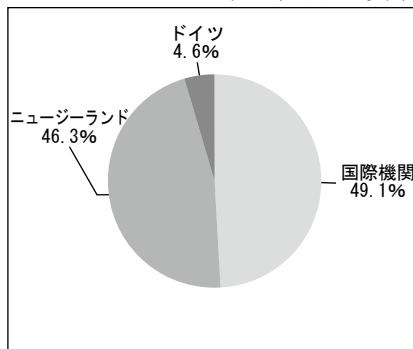
(2015年9月7日現在)



\*純資産総額に対する評価額の割合

#### 【国別配分】

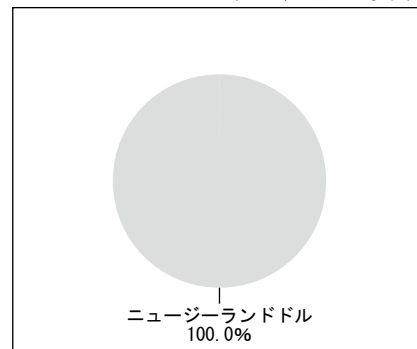
(2015年9月7日現在)



\*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

#### 【通貨別配分】

(2015年9月7日現在)



\*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

#### 【組入上位銘柄】

(2015年9月7日現在)

銘柄名	通貨名	比率
1 NEW ZEALAND GOVERNMENT 6 12/15/17	ニュージーランドドル	22.4%
2 EUROPEAN INVESTMENT BANK 7.5 12/15/17	ニュージーランドドル	19.4%
3 INT BK RECON & DEVELOP 4.5 08/16/16	ニュージーランドドル	13.7%
4 NZ LOCAL GOVT FUND AGENC 6 12/15/17	ニュージーランドドル	11.1%
5 COUNCIL OF EUROPE 7.5 04/30/18	ニュージーランドドル	5.8%
6 INTL FINANCE CORP 6.25 12/15/17	ニュージーランドドル	5.6%
7 LANDWIRTSCH. RENTENBANK 4 01/30/20	ニュージーランドドル	3.2%
8 NEW ZEALAND GOVERNMENT 6 05/15/21	ニュージーランドドル	2.4%
9 NZ LOCAL GOVT FUND AGENC 6 05/15/21	ニュージーランドドル	2.4%
10 NZ LOCAL GOVT FUND AGENC 5 03/15/19	ニュージーランドドル	2.2%

(組入銘柄数 14銘柄)

\*比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\*全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

※ 基準価額の推移、1万口当りの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

※ 資産別配分、国別配分、通貨別配分、組入上位銘柄は組入ファンドの直近の計算期間末日のものです。



世界に通用する質の高い  
資産運用会社を目指します